



あかね雲

第9号
令和7年12月25日
発行責任者 鈴木 智喜



【令和7年度 学校スローガン】

Keep going・生きる～一生懸命はかっこいい～

敬愛の心があつく心情豊かな生徒 よく考え主体的に行動できる生徒 体力・気力の充実した健康な生徒

～令和7年もたいへんお世話になりました～

寒さが一段と厳しく冷たい空気に身が引き締まる中、令和7年も残すところあとわずかとなりました。保護者の皆様、地域の皆様には、健康安全面の管理や学校図書ボランティアなど、様々な面で学校を支えていただきありがとうございました。教育活動を進めるにあたり、生徒たちは学校生活の中で“Keep going・生きる～一生懸命はかっこいい～”のスローガンの下、数多くの学びと経験を通して、心身ともに大きくたくましくなってきました。今後とも、生徒一人一人がさらなる高みを目指し、自分らしく歩んでいけるよう取り組んでいきたいと思います。



お弁当の日の様子

この冬休みは一年を締めくくると同時に、新しい年に向けて高い志を立てる大切な時期でもあります。ご家庭におかれましても、お子様とゆっくり対話する時間をもち、新たなエネルギーを蓄えることのできる充実した冬休みをお過ごしください。来年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様、どうぞ健やかによい年をお迎えください。

地域とともに歩む学校づくり～恵まれた環境を生かして～

本校の学区内および隣接区域には、小学校から高校、特別支援学校まで計17もの教育機関が集まっています。文教地区というこの恵まれた環境を最大限に生かし、2年生が私立高校見学を実施しました。今回のルートは、すべて「歩く」。自分たちの足で歩き、4校の私立高校を訪問しました。生徒たちは、普段見慣れた街並みの中になりながら、一步足を踏み入れると全く異なる「高校」という空間の熱気や、先輩方の立ち振る舞いに刺激を受けたようです。「広々とした施設、充実した設備」「パンフレットで見るのとは違う」など、五感を通して得た情報は、何物にも代えがたい経験となったと思います。



宇都宮短期大学附属高等学校

2年生にとって進路はまだ先のことと感じられがちですが、1年後には私立高校の出願時期を迎えていました。校舎内の雰囲気を肌で感じ、「学びたい」という思いを抱いたことは、日々の学習に対する大きなモチベーションとなったに違いありません。地元という身近な場所で未来の自分をイメージする、実り多き一日となりました。今回の訪問で感じた「憧れ」や「気づき」が大きな原動力となり、来年の入試本番に向けて、一步一步着実に歩みを進めいかれることを願っております。



宇都宮短期大学附属高等学校



作新学院 英進部



作新学院 情報科学部



作新学院 総合進学部



文星芸術大学附属高等学校



宇都宮文星女子高等学校

～これまでの陽西中学校の歩みを漢字で表現しました～

12月12日、毎年恒例の「今年の漢字」が発表されました。全国から寄せられた約19万票の中で、第1位に選ばれたのは「熊」でした。日本各地でクマの出没が相次ぎ、人身被害が過去最多を記録したことは記憶に新しいところです。市街地での目撃や学校の臨時休校など、私たちの生活に深刻な影響を及ぼしました。政府による対策パッケージの策定や、和歌山県のアドベンチャーワールドから4頭のジャイアントパンダが中国へ返還されたニュースも、この字が選ばれた背景にあるようです。



今年の漢字

清水寺の森清範貫主は「地球環境の変化が我々の身の回りに迫っていることを実感した」と述べられました。この「熊」という一文字には、自然との共生や環境変化への警鐘が込められているかもしれません。揮毫（きごう）された「熊」の大書は、12月22日まで清水寺の本堂に展示されておりました。その後は京都市内の「漢字ミュージアム」に移設・展示されています。

本校におきましても、この一年を振り返り、生徒たちの成長と歩みを下記のように一文字の漢字で表現しましたので、ご一読いただければ幸いです。

1年生を象徴する一文字は「律」です。入学当初は、周りの助けを借りながら一歩ずつ進んできましたが、現在は自分たちで状況を判断し、主体的に行動に移そうとする「律」の精神が息づいています。一つ一つの行動に対して「どうすべきか」を自問自答し、納得して選択する。そうした自分をコントロールする「自律」した振る舞いは、集団生活の中で輝き始めています。



3年生を象徴する一文字は「飛」です。学校行事や部活動などの場面で学校の中心となり、素晴らしい力を発揮しました。その姿は、困難を跳ね除け、高みを目指して羽ばたく鳥のようでした。何事にも思い切りよく行動するその背中は、下級生の目に頼もしく映ったはずです。最高学年として心身ともに成長し、未来という大空へ向かって、大きく「飛躍」を始めています。



2年生を象徴する一文字は「志」です。互いに高め合える集団を目指し、教育活動の実践に努めてきました。日頃から「気づく・考える・動く」をモットーに、自らの「意志」を磨く姿は頼もしく、最上級生へのステップを着実に登っています。自分たちのことだけでなく、学校全体を俯瞰して行動できるその「志」の高さに、心身ともにたくましくなった大きな成長を感じます。



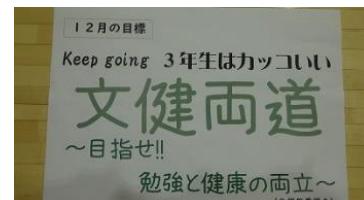
陽西中を象徴する一文字は「命」です。「Keep going・生きる～一生懸命はかっこいい～」の下、歩みを止めることなく前進を続けてきました。本校教育の根幹にあるのは「自他ともに生命を大切にする心の育成」です。自分を大切にし、他者の痛みを分かち合える。そんな豊かな感性を育み、生徒たちが「命」を輝かせ、自分の道を切り拓いていくよう力を注いでいきます。



目標達成のために頑張れ3年生！「心を定め、懸命に歩むとき」

年が明けると、3年生は私立高校の入学試験に臨みます。1、2年生にとってはまだ先の話だと感じるかもしれません、この時期は誰もが必ず迎える大切な節目です。今のうちから心の準備をしておきましょう。

- 入学試験日が間近になったとき、心掛けたいことは、「心にゆとりをもって試験に臨む」ということです。人間の頭脳は、朝起きてから3時間ほどして、はじめて正常に働くと言われています。試験開始時刻をふまえ、起床時刻を設定することが望ましいです。例えば「朝6時ごろに起きて、朝食をとり、持ち物を再確認し、ゆとりをもって試験会場に向かう」です。ゆったりとした心境で試験に臨むことが最も大切です。
- 「最後まであきらめない」ということです。1点を争う入試では、あきらめずにくらいくつ気持ちがあつてこそ合格への切符がもらえる資格があると言えます。難しい問題にぶつかるとあせりを感じるでしょうが落ち着いてじっくりと問題を読み返し、何を答えるべきかを正しくとらえることが大切です。決して途中で放棄しないことです。あきらめることは、合格の喜びをも放棄することになるということを決して忘れてはなりません。3年生の皆さん、心を定め、懸命に歩み、自分の新たな道が拓けることを願っています。



3学年 12月の目標

冬休み中の自動音声応答 勤務時間を除く時間帯 午後4時30分～翌午前8時00分

学校閉庁日業務休止 12月28日(日)～1月5日(月)

冬季の節電対策・働き方改革推進のため年末年始の休日は学校閉庁期間となります。この期間に御用がある場合は、市教育委員会学校教育課「TEL (632) 2726」までご連絡願います。

体罰等に係る相談

本市では、体罰等についての保護者の皆様からの相談機会の充実を図るため、全小中学校において「相談日」を設けております。本校では、1月20日(火)・21日(水)の2日間を設定しました。

体罰に係る相談がございましたら、校長・副校長「TEL：028-622-2328」までご相談ください。